

まちづくり協議会 稚内新エネルギー研究会

会則 第1条 本会は、稚内において、地域における新エネルギーの調査・研究を進め地域振興の可能性を希求するとともに、地域の環境に配慮し、稚内市における新エネルギーの普及啓発に寄与することを目的とする。

私たちのまちづくりビジョン

- 1.“風のまち・わっかない”の特性を活かし、自然エネルギーを利用した新エネルギー活用システムを構築し、地球環境保全に取組む環境最先端のまちを創出する。
- 2.燃料電池社会の到来に向けて、将来的に水素を大規模供給できる施設を設置し、地球温暖化防止に寄与する21世紀型の先行的まちモデルを構築する。
- 3.サハリンの天然ガスと水素を混合したハイタン(ハイドロジェントメタン)利用を視野に入れ、環境に優しいエネルギーの利用促進の立場から日口間での新エネルギービジネスを推進する。
- 4.市民参加によるまちづくりと啓発活動を通じて、人々が「地球環境に優しい暮らし」と「心の豊かさ」を実感できる“新エネルギー最先端都市”として地域を再生する。

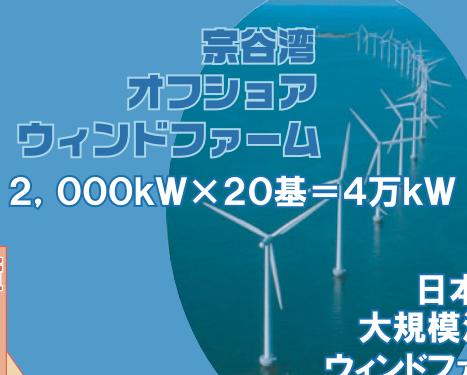
環境省 環境と経済の好循環のまちモデル事業（平成17～19年度）

稚内新エネルギー研究会で応募した、「風と燃料電池で築く環境最先端のまちづくり」プランが平成17年度の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の対象事業として、全国の10件に選ばれました。北海道では稚内が初めての採択となります。研究会では、3カ年にわたって下記の事業を進めていきます。



夢をカタチに エトウ・アイランド構想

最北端から最先端へ エトウ・アイランド構想



至 サハリン

(エトウはアイヌ語で先端の意味)

宗谷岬ウィンドファーム
日本最大の風力発電基地

すでに動いている計画
計画中
将来構想

国土交通省実行可能性調査
○中心市街地区 マイクログリッド構想
○ノシャッブ岬・富士見地区
小型風力によるハイブリットシステム構想
(水素製造・燃料電池)

「低温冷結熱媒と雪氷による
氷点下貯蔵庫事業」

実証試験NEDO・(株)大林組

宗谷岬肉牛牧場地区

畜産バイオガスプラント
バイオガス発電・水素製造

宗谷岬エネルギー供給基地

宗谷氷河牧場

食の安全・ブランド化

稚内国際空港化構想

空の玄関口の重要性増大
・国際線ネットワーク(世界3カ国)

・国内線ネットワーク(国内7都市)

新エネルギー産業エリア

ハイタン
パイプライン構想
水素と天然ガスを供給する
次世代のハイフライン

環境省 環境と経済の好循環のまちモデル事業

稚内公園ゲストハウス内

●燃料電池1kwクラス×2基
●4kwクラス1基 風力発電系統連係
●風の学校わっかない(環境教育施設)
(燃料電池1kwクラス×1基)

稚内北星学園大学を拠点とした 研究教育拠点構想

水素製造プラント施設(研究棟・開発棟・宿泊棟)
燃料電池モデルタウン(水素供給 800世帯)

波力発電プラント構想

・外防波堤 100mクラス
・波力タービン 200kw×6基=1,200kwh